

## J FMA 調査研究部会 次年度活動計画

## 【平成30年度 活動計画】

名称	概要
<p>【マネジメント研究】</p> <p>インフラマネジメント</p> <p>研究部会</p>	<p>■メインテーマ</p> <p>当部会としては引き続き、官民連携を基本とするインフラマネジメント手法の導入を目指し、地方自治体に対しヒアリング、FM 的側面からのインフラマネジャー育成、及び ISO の活用等について調査研究を行う。</p> <p>あわせて平成 27 年 2 月に発足以来、本年度で 3 年目をむかえることを鑑み、協会内のファシリティマネジャー育成の各種研修会運営に積極的に参加し FM とインフラマネジメントの融合を目指していきたい。</p> <p>■活動計画</p> <p>①公共施設等総合管理計画の実効性を担保するに課題を有する自治体に対し、地域の産官学民合同シンポジュームの開催を通して地域課題の共有化と解決策について調査・研究を実施する。公共 FM 部会と引き続き連携。</p> <p>②インフラマネジャー育成のための教本編集作業を引き続き実施。</p> <p>③アセットマネジメント ISO55001 の規格とファシリティマネジメント国際規格 ISO41000 との比較研究</p> <p>④引き続き国交省「インフラメンテナンス国民会議」と連携した各種活動参加ならびに実行委員の派遣。自治体支援、革新的技術、人材育成、海外展開の各フォーラムとの連携。</p> <p>⑤協会内のファシリティマネジャー研修の開催は、昨年、一昨年と「秋の夜学校」のみであったが、本年からは外部団体との連携を視野に入れて研修会（ウィークリーセミナー）開催の回数を増やす。</p> <p>頻度については 2 カ月に一回程度を予定。（テーマ、講師は後日報告）</p> <p>外部団体：NPO 法人社会基盤ライフサイクルマネジメント研究会（SLIM）</p> <p>理事長：有岡正樹（高知工科大学講師）</p> <p>副理事長：中村裕司（ISS 代表、当部会顧問）</p>

- ファシリティマネジメント(FM)とは
- 協会概要
- JFMA 会員
- 概要
- 資格者統計データ
- 試験案内
- 新規登録申請
- 更新登録申請
- ・ B方式ポイント案内
- IFMA/CFM相互認証制度
- 登録事項変更時の届出
- 求人情報
- セミナー・報告会
- 調査研究
- 日本ファシリティマネジメント大会
- JFMA 賞
- 賞状・報告書
- 機関誌
- メールマガジン
- お問い合わせ
- 案内地図
- サイトマップ
- トップページ

## 認定ファシリティマネジャー(CFMJ) 概要

公益社団法人日本ファシリティマネジメント協会(JFMA)  
 一般社団法人ニューオフィス推進協会(NOPA)  
 公益社団法人ロングライフビル推進協会(BELCA)

企業・団体などの組織体の全施設及び環境（ファシリティ）を経営的視点から総合的に企画・管理・活用する経営管理活動（ファシリティマネジメント、以下FMという。）に関わる新たな専門家を育成、普及することにより、快適かつ機能的なファシリティを継続的に供給し、企業理念の具現化及び経営目標を達成し、かつ健全な社会資本の形成に貢献することを目的として、平成9年度から新たに「認定ファシリティマネジャー」資格制度がスタートしました。

### 認定ファシリティマネジャー資格制度

この資格制度は、公益社団法人日本ファシリティマネジメント協会、一般社団法人ニューオフィス推進協会、公益社団法人ロングライフビル推進協会の3団体が協力して実施するもので、FMに携わる全ての者を対象として、FMに必要な専門知識・能力についての試験（認定ファシリティマネジャー資格試験）を行い、試験に合格し、登録を行った者に、「認定ファシリティマネジャー(CFMJ)」の称号を与えるものです。

### 認定ファシリティマネジャー資格制度において認定する知識・能力

この資格制度は、認定ファシリティマネジャーが次のような知識・能力を所有していることを認定するものです。

1. FMの統括マネジメントならびにFMの戦略・中長期実行計画、それに基づく不動産取得、賃貸借、建設等のプロジェクト管理、そして運営維持と評価の流れに沿ったFM業務に関する知識・能力
2. FMのための社会性、人間性、企業性、施設、情報等の関連知識
3. FMを支える利用者の満足度等の調査・分析、品質分析・評価、ファシリティコスト・投資等の財務分析・評価、需給対応・施設利用度等の分析・評価、そして企画立案やプレゼンテーション等の技術

### 認定ファシリティマネジャーに期待される役割

1. 快適性、生産性、信頼性、適合性、品格性等の品質性能の確保、投資やファシリティコストの最適化、需要の変化への柔軟な対応のために、データを定量的にとらえ、課題を明確にし、誰でも十分に理解される目標を定めます。
2. 目標を達成するため、関係の専門家等の力を組織化し、具体的な実行計画を策定し、その計画の実行を管理します。
3. つくりあげられたファシリティが、経営環境やニーズの変化に柔軟に対応し、つねに目標を満足しているかの調査・評価を行います。

ファシリティマネジメント(FM)とは

協会概要

JFMA 会員

概要

資格者統計データ

試験案内

新規登録申請

更新登録申請

・ B方式ポイント案内

IFMA/CFM相互認証制度

登録事項変更時の届出

求人情報

セミナー・報告会

調査研究

日本ファシリティマネジメント大会

JFMA 賞

賞状・報告書

役員誌

メールマガジン

お問い合わせ

案内地図

サイトマップ

トップページ

認定ファシリティマネジャー(CFMJ) 資格者統計データ (受験者数・合格者数・資格登録者数)

2017年 3月31日 現在

年度	資格試験							合格者				資格登録者				相互認証 資格登録者	
	CFMJ(日本)							CFMJ(日本)				CFMJ(日本)				CFM(米国)	
	受験 申込者	受験 者A	合格 者B	合格 率B/A	平均 年齢	最高 年齢	最低 年齢	男性	男性 比率	女性	女性 比率	新規 登録者	更新 登録者	有効 登録者	新規 登録者	更新 登録者	有効 登録者
(人)	(人)	(人)	(%)	(歳)	(歳)	(歳)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)
1 1997年 (平成9年度)	2316	2132	981	46.0	40.0	70	25	941	95.9	40	4.1	1660	-	1660	-	-	-
2 1998年 (平成10年度)	2001	1809	753	41.6	39.3	64	25	720	95.6	33	4.4	862	-	2522	-	-	-
3 1999年 (平成11年度)	1688	1489	640	43.0	39.0	65	25	605	94.5	35	5.5	772	-	3294	-	-	-
4 2000年 (平成12年度)	2022	1783	895	50.2	39.5	61	25	864	96.5	31	3.5	895	-	4189	-	-	-
5 2001年 (平成13年度)	2463	2172	861	39.6	39.1	64	22	815	94.7	46	5.3	634	-	4823	972	-	972
6 2002年 (平成14年度)	2517	2145	927	43.2	39.2	63	20	882	95.1	45	4.9	694	959	5517	160	-	1132
7 2003年 (平成15年度)	2399	2052	824	40.2	37.7	66	22	761	92.4	63	7.6	635	743	5437	31	155	897
8 2004年 (平成16年度)	1932	1653	684	41.4	39.5	61	20	633	92.5	51	7.5	527	575	5858	51	113	941
9 2005年 (平成17年度)	2017	1677	683	40.7	37.7	62	20	621	90.9	62	9.1	550	514	6212	45	54	886
10 2006年 (平成18年度)	1651	1349	555	41.1	37.0	68	22	494	89.0	61	11.0	448	527	6279	35	31	835
11 2007年 (平成19年度)	1701	1395	540	38.7	37.9	61	20	491	90.9	49	9.1	433	1165	6514	9	22	667
12 2008年 (平成20年度)	1748	1436	635	44.2	36.1	65	19	568	89.4	67	10.6	466	892	6540	12	26	384
13 2009年 (平成21年度)	1488	1272	510	40.6	41.6	66	20	456	89.4	54	10.6	413	783	6468	13	7	293
14 2010年 (平成22年度)	1324	1137	490	43.1	39.5	65	21	432	88.2	58	11.8	376	748	6363	9	4	162
15 2011年 (平成23年度)	1217	1071	471	43.8	38.7	62	21	419	89.0	52	11.0	380	683	6406	61	3	161
16 2012年 (平成24年度)	1174	1025	450	43.9	39.1	67	21	406	90.2	44	9.8	389	1176	6521	191	82	382
17 2013年 (平成25年度)	1196	1034	450	43.5	38.8	65	24	394	87.6	56	12.4	391	986	6453	-	-	333
18 2014年 (平成26年度)	1224	1075	472	43.9	39.0	62	21	413	87.5	59	12.5	398	878	6447	-	-	333
19 2015年 (平成27年度)	1283	1074	473	44.0	40.3	67	22	417	88.2	56	11.8	426	823	6565	-	-	302
20 2016年 (平成28年度)	1315	1070	470	43.9	41.1	69	21	407	86.6	63	13.4	387	807	6645	-	-	261
1997-2016年 度 累計	34,676	29,850	12,764	-	-	-	-	11,739	-	1,025	-	-	-	-	-	-	-

\*各年度の資格登録者数は3月31日時点のものです。但し、最新年度は上記の日付に従います。

CFMJ (Certified Facility Manager of Japan)

--日本のファシリティマネジメント資格制度協議会が認定するファシリティマネジャー資格

C F M (Certified Facility Manager)

--米国の国際ファシリティマネジメント協会 ( I F M A : International Facility Management Association)が認定するファシリティマネジャー資格

1. 登録者とは、資格の新規登録申請を行い、認定ファシリティマネジャー ( C F M J ) となった方です
2. 相互認証 C F M 資格登録者とは、 C F M J 資格登録後、相互認証制度により、 C F M 資格登録を行った方(2013年6月1日より『CFMj』に名称変更)です。2012年12月31日に相互認証制度は終了しました。
3. 資格更新登録者には、登録有効期間 (合格または更新後5年) の満了にともない継続して登録した方、登録有効期間を過ぎて失効し再登録した方、資格試験合格後5年以内に初回登録をせず更新講習を受講した後に新規登録をした方、が含まれます。
4. 1997年度・1998年度・1999年度の新規資格登録者には、それぞれ、特別講習修了者、679人・109人・132人がそれぞれ含まれます。  
但し、特別講習は、1997年度から3ヵ年の特別措置として実施され、現在は終了しています。

- ファシリティマネジメント(FM)とは
- 協会概要
- JFMA 会員
- FMファシリティマネージャー(FM)
- 概要
- 資格登録データ
- 試験案内
- 新規登録申請
- 更新登録申請
- ・ B方式ポイント案内
- IFMA/CFM相互認証制度
- 登録事項変更時の届出
- 求人情報
- セミナー・報告会
- 調査研究
- 日本ファシリティマネジメント大会
- JFMA 賞
- 賞状・報告書
- 機関誌
- メールマガジン
- お問い合わせ
- 案内地図
- サイトマップ

トップページ

**B方式ポイント案内 ～ CFMJ資格が有効期間内の方は必見！～**

認定ファシリティマネジャー（CFMJ）資格の「資格登録更新講習 B方式」のポイントについてのご案内です。  
 資格登録【有効期間内】の方で直近5年以内に、「FM業務に従事していた」「FORUMに参加した」「CPD研修対象のJFMA主催FM関連セミナーに参加した」「FM普及のため講師として講演をした」等がある場合には、以下をご確認ください。対象の**4分野【(1)実務経験 (2)継続教育 (3)FM団体活動 (4)FM普及啓発への貢献】**のうち【**2分野以上について合計20ポイント以上**】を取得している場合には更新講習B方式を選択することが可能です。

**更新講習B方式（FM活動ポイント方式）とは？**

更新講習B方式とは、以下の手続きをすることで資格の更新ができる方式です。

- ・『ポイント申告表』『実務経験証明書』『証明書類』等書類の提出 → 『**実務経験証明書等提出用紙**』
- ☑ 『更新用テキストの自己学習』
- ・『顔写真』（更新票(1)に貼付する）
- ・更新料(11,630円)の支払い

※申請については、『更新登録申請ページ』☑ より更新登録申込みをしてください。

■■ モデルプラン ■■ …資格有効期間内 直近5年で どのようにポイントが取得できるか？

【参考例-1】

5年間FM業務に従事して、毎年FMフォーラムやJFMA主催のFM関連セミナーによく参加していますが...

- ・分野(1)実務経験 FM業務に5年間従事 (2点/年) 【10点】
- ・分野(2)継続教育 FMフォーラムに2大会参加 (3点/大会) 【6点】
- ・分野(2)継続教育 ウィークリーセミナーに4回参加 (1点/回) 【4点】

→ 分野(1)と(2)の2つの分野で【合計20点以上】取得して更新講習B方式クリア！！

【参考例-2】

5年間FM業務に従事して、遠方のためなかなか平日のセミナーには参加できず、年一度のFMフォーラムに参加して、他は自習型のJFMAジャーナルコースを受講したのですが...

- ・分野(1)実務経験 FM業務に5年間従事 (2点/年) 【10点】
- ・分野(2)継続教育 FMフォーラムに2大会参加 (3点/大会) 【6点】
- ・分野(2)継続教育 自習型JFMAジャーナルコースを2年受講 (3点/1年4冊) 【6点】

→ 分野(1)と(2)の2つの分野で【合計20点以上】取得して更新講習B方式クリア！！


【更新講習B方式のポイント基準と証明方法】

分野	FM活動分野 ポイント対象項目	ポイント数		備考
		点数	最高	
(1) 実務 経験	FMの業務に従事	2/年	10	資格登録に必要な「表2ファシリティマネジメントの11の業務」☑の全部または一部に該当 → 組織の上司(または第三者)の証明を受けた「実務経験証明書」☑を提出
(2) 継続 教育	FM三団体※1の主催または指定するセミナーに参加 ▼詳細は「B方式ポイント対象セミナー・研修のご案内」参照	1/2時間 (原則)		【FM三団体の主催するセミナー】 「表3FM三団体の主催または指定セミナー」☑ (同一内容を複数会場で開催した場合はいずれか1回のみ有効) 【FM三団体の指定するセミナー】 大学、専門学校、建築関係機関および行政機関(例えば、北海道ファシリティマネジメント協会/四国ファシリティマネジメント協会/日本建築学会等)三団体の指定するFM関連セミナー → 「ポイントカード」にポイント判が押印されたもの、または受講票・領収書等の証明となる書類を提出
	FM FORUM・FM 国際大会に参加	3/大会	10	JFMAのFM FORUM、IFMAのWWPならびにKFMA、BIFM、FM※2及びCoreNet Globalの大会 → 押印された「ポイントカード」、押印のない大会は受講票、領収書等の証明となる書類を提出
	FM三団体※1の機関誌の個人定期購読	1/年		12ヶ月連続で購読した場合につき1点 → 領収書等の証明となる書類を提出
	[自習型]指定図書によるCPD研修シリーズ『(1)JFMAジャーナルコース』を受講 ▼詳細は「B方式ポイント対象セミナー・研修のご案内」参照	3/年 4冊		自習型CPD研修の年間契約を申込み、毎号の問題に解答して合格点に達した場合のみ有効 → JFMAが発行した「ポイント認定証」を提出
イ		5/年	10	

(3) FM 団体活動		FM三団体 <sup>※1</sup> 委員会の委員長 (但し「(3)FM団体活動-ロ」を除く)			→「ポイント申告表」に委員会名と任期を記入して提出	
	ロ	JFMAの資格制度委員会、試験委員会及び更新講習委員会の委員	10/年		資格制度委員会、試験委員会、更新講習委員会の委員長・副委員長を含む →「ポイント申告表」に委員会名と任期を記入して提出	
	ハ	FM団体の個人会員	2/年		12ヶ月以上継続に限る FM三団体 <sup>※1</sup> の他、IFMA、KFMA、BIFM、FMN、CoreNet Global →領収書等の証明となる書類を提出	
(4) FM普及啓発への貢献	a 講演会・講習会の講師	イ	FM遂行能力を高める教育講座の講師	5/回	10	NOPA、BELCA主催「FM実力養成講座」 大学等教育機関のFM関連常設講座 →「ポイント申告表」に開催年月日及び講座名を記入し、案内書・履修要領・テキスト・レジュメ等の証明となる書類を提出
		ロ	FM三団体 <sup>※1</sup> が主催または指定するセミナーの講師	2/回		【FM三団体の主催するセミナー】 【表3FM三団体の主催または指定セミナー】 (同一内容を複数会場で開催した場合はいずれか1回のみ有効) 【FM三団体の指定するセミナー】 大学、専門学校、建築関係機関および行政機関(例えば、北海道ファシリティマネジメント協会/四国ファシリティマネジメント協会/日本建築学会等)三団体の指定するFM関連セミナー →「ポイントカード」にポイント割が押印されたもの、または受講票・領収書等の証明となる書類を提出
	ハ	FM国際大会等における研究発表	2/回	JFMAのFM FORUM、IFMAのWWPならびにKFMA、BIFM、FMN <sup>※2</sup> 及びCoreNet Globalの大会 →「ポイント申告表」に開催年月日、大会名及び発表テーマを記入し、案内書・履修要領・テキスト・レジュメ等の証明となる書類を提出		
	b 書籍・雑誌等の執筆	イ	FM関連図書の執筆・出版	5/回		共有の場合でもポイントは案分しないガイドブック等の執筆担当も含む → 該当の執筆書籍を提出(寄贈) 共有の場合は「ポイント申告表」に担当箇所(章・節等)を記入して提出
		ロ	FM関連研究論文・報告の執筆	3/回		建築学会及びオフィス学会のFM関係研究論文・報告 → 該当の執筆論文(予稿集・梗概集等)を提出(寄贈)
		ハ	FM関連記事の寄稿・執筆	2/回		FM三団体 <sup>※1</sup> の機関誌、その他の新聞・雑誌へのFM関連記事の寄稿・執筆 → 該当の書籍・新聞・雑誌等を提出(寄贈)
	c その他	イ	JFMAの事務局に勤務	5/年		→「ポイント申告表」に任期を記入して提出

※1 「FM三団体」：公益法人日本ファシリティマネジメント協会(JFMA)／一般社団法人ニューオフィス推進協会(NOPA)／公益社団法人ロングライフビル推進協会(BELCA)

※2 IFMA (International Facility Management Association) /KFMA (Korean Facility Management Association) /BIFM (British Institute of Facilities Management) /FMN (Facility Management Netherlands) /WWP (World Workplace)

※「更新講習B方式のポイント基準と証明方法」(pdf) [ダウンロード](#) 

UP

#### B方式ポイント対象セミナー・研修のご案内

B方式(分野2)継続教育に該当する更新ポイントが付与されるセミナー等のご紹介です。

※ セミナー等に参加して得られたポイントは、最大10ポイントまで認められます。

※ 参加する際は『更新講習B方式・ポイントカード』(緑色のカード)を受付にご提示して、ポイント分の押印を受けてください。


スタンプの後日押印、再発行はございませんのでご注意ください。

#### 【B方式ポイント対象セミナー・研修一覧】

	講座・セミナー・研修名	ポイント数	研修内容・スキルUP
(1) 上級セミナー	社会・経営基盤の強化とマネジメント (★★★FM上級者向け) <b>上級セミナー</b> (4日間)(毎年10月～11月頃開催) <a href="#">詳細はこちら</a>	最大8点 /4日間(16時間) ※ 特別として 全講習出席者は 10点	1) 経営的視点に立ってFMはどうあるべきか(2013) 2) 社会・経営基盤の強化とマネジメント(2014) 3) 広がるFM(ファシリティマネジメント)最新情報(2015)
(2) FM サマースクール	FMプロフェッショナル養成講座 (★★★FM実務者向け)	最大18点 /6日間(36時間) ※ B方式では	FMの実務者のための事例を交えた最新情報 1) ホスピタリティ能力 2) 基本ビジネス能力



	<b>FMサマースクール</b> (6日間)(毎年8月～9月頃開催) <a href="#">詳細はこちら</a>	最大10点まで 認めます	3) FM業務の基礎知識と技術 他 【交流会あり】
	FM財務について体系的に学ぶ <b>FM財務評価手法セミナー</b> (夜4日間) (毎年3月開催) <a href="#">詳細はこちら</a>	最大5点 /4日間(10時間)	FMの管理目標「財務、品質、供給」の根幹の1つの財務評価手法を、FM財務評価ハンドブックに基づき実務を解説
	80以上のFMセミナーと展示 <b>FMフォーラム セミナー</b> (毎年2月 3日間開催) <a href="#">詳細はこちら</a>	3点 /1大会	年1度開催のFMフォーラムでのFMの入門から専門分野に関する内容までの様々なセミナーおよびFM最新情報・技術等の展示コーナー併設
(3) 分野別セミナー 各種企画セミナー等	年間を通して多彩なテーマを取り上げる <b>ウィークリーセミナー</b> (毎月2回 水曜夜開催) <a href="#">詳細はこちら</a>	1点 /1回	月2回水曜日のJFMA定例のセミナーFMに関する戦略総務からプロジェクトマネジメント、財務、CREまで掘り下げる
	話題のFMに関する企画セミナー <b>各種企画セミナー</b> (不定期開催) <a href="#">詳細はこちら</a>	1点 /1回	そのとき時々のFMの旬なテーマを基にさまざまな視点から開催する 例) 公共FMセミナー 等
	調査研究部会報告 <b>FM 秋の夜学校</b> (不定期開催) <a href="#">詳細はこちら</a>	1点 /1回	JFMAの16の調査研究部会の幅広い取組みや内容を紹介するセミナー
(4) 初級 FMスクール	FM入門に最適な1 Dayスクール (★FM初級者向け) <b>初級FMスクール</b> (毎年8・10・12月同内容開催) <a href="#">詳細はこちら</a>	3点 /1日(6時間)	1)FMを経営に取り入れたい方 2)FMを初歩から学びたい方 3)FMの全体像を理解したい方 これらの対象の方に最適なFM全体を俯瞰する1日完結のスクール 【交流会あり】
(5) 自習型	[指定図書によるCPD研修シリーズ(1)] <b>JFMAジャーナル コース</b> (申込受付以降の新刊より開始) <a href="#">詳細はこちら</a>	4点 /1年4冊 (年間定期購読)	JFMA機関誌(JFMAジャーナル 年4回発刊 1・4・7・10月)を購読し、それに掲載したFM最新動向や事例等について、所定の設問に解答する ※研修の事前登録申請が必要

※「B方式ポイント対象セミナー・研修一覧」(pdf) [ダウンロード](#)  PDF

#### お問い合わせ

認定ファシリティマネジャー(CFM)資格 更新講習B方式に関するお問い合わせは、下記までお願いします。

#### ■ FM資格制度協議会

事務局 公益社団法人 日本ファシリティマネジメント協会(JFMA)

(担当) 鈴木・湯浅

〒103-0007東京都中央区日本橋浜町2-13-6 浜町ビル6F

TEL: 03-6912-1177 FAX: 03-6912-1178

E-mail: koushin@jfma.or.jp

 UP